CASBEE-建築(新築)2016年版
福岡ヤフオク！ドーム新ビル計画

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版
欄に数値またはコメントを記入　■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.3
Q1 室内環境			0.40		-	3.1
1 音環境		2.3	0.15	-	-	2.3
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音		1.2	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		1.0	0.87	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.13	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		3.4	0.35	-	-	3.4
2.1 室温制御		3.8	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.39	3.0	-	
2 外皮性能		5.0	0.24	3.0	-	
3 ゾーン別制御性	ゾーンごとにビルマルチの系統を分けさらに冷暖が混在しそうな系統については冷暖同時型の室外機を採用	4.0	0.37	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		2.7	0.25	-	-	2.7
3.1 昼光利用		1.9	0.40	-	-	
1 昼光率		1.0	0.52	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.48	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.05	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度	全般照明で500LX以上を確保	4.0	0.16	3.0	-	
3.4 照明制御	変更：明るさセンサーが中止となってので変更	3.0	0.39	3.0	-	
4 空気質環境		3.6	0.25	-	-	3.6
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気		3.7	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.36	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.29	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮	外気取り入れ口はと排気口は全て異なる面に設置	5.0	0.36	3.0	-	
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-	
1 CO_2の監視	CO2濃度センサーで濃度監視し、外調機の風量を自動制御	5.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御	ビル全体を禁煙とし、排煙設備を備えた喫煙室を設ける	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		–	0.30	-	-	3.5
1 機能性		3.2	0.40	-	-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	0.06	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.06	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.88	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.2	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	事務室の基準天井高さは、2.8mに設定	4.0	0.13	3.0	-	
2 リフレッシュスペース	変更　自販機を追加設置＋食堂・休憩室を執務スペースの1%以上	5.0	0.06	-	-	
3 内装計画		3.0	0.81	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	フロアごとに掃除流しを設置	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.6	0.30	-	-	3.6
2.1 耐震・免震・制震・制振		4.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	I=1.25以上	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	3階に一部制振装置を設置	4.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外のダクトはガルバリウムを採用	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		3.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	節水器具　中水　受水槽に緊急時の蛇口の3つを採用	4.0	0.20	-	-	
3 電気設備	非常用発電設備　無停電設備　電気室の配置(地上)の3つを採用	4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	重要機器とその配管・配線については耐震クラスAを採用	4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.9	0.30	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり		4.1	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高3.85～6.0	5.0	0.19	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1以上	4.0	0.81	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり	4900N/㎡	5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）		–	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	ドームとの調和と壁面後退・外装の色彩計画の配慮	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-		-	3.2
LR1 エネルギー		–	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	[BPI][BPIm]=0.78　変更：省エネ適合判定の変更による	5.0	0.19	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] =　0.83　変更：省エネ適合判定の変更による	2.8	0.51	-	-	2.8
4 効率的運用		4.0	0.20	-	-	4.0
集合住宅以外の評価		4.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	BEMSを設置	4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	運営管理目標3000MJ/㎡・年とする。	4.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		–	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護		3.5	0.20	-	-	3.5
1.1 節水	節水器具を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.3	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無	中水を採用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.14	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	変更：既存躯体がないので対象外へ変更	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	ー	3.0	0.29	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ー	3.0	0.29	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.29	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	ビニル床タイル・シート用接着、壁塗装が有害物質を含まない	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤（断熱材等）	ODP=0、GWP=1	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		–	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO_2排出率に基づくスコア換算=3.8	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮		2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	駐車・駐輪場の確保	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	0.33	-	-	
2 振動		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		2.3	0.40	-	-	
1 風害の抑制		2.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-		
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30	-	-	